

エコアクション21

環境経営レポート

対 象 期 間 令和5年6月～令和6年5月

作 成 日 令和6年6月27日



ニューテクノファースト(株)

環境レポート

目次

1.事業活動の概要	P-1
①名称及び代表者	
②所在地	
③環境管理の責任者及び担当者連絡先	
④事業内容	
⑤事業の規模	
⑥事業年度	
2.環境組織図及び推進体制	P-2
3.許可及び施設内容	P-3～4
4.処理フロー	P-5～6
5.保有車両及び機械、受託した廃棄物の処理量	P-7
6.環境経営方針	P-8
7.環境経営目標、次年度以降の基準値	P-9
8.月別環境経営目標・計画管理表、効率対比表	P-10
9.環境経営計画、次年度環境経営計画、実施取り組み	P-11
11.環境関連法令等の一覧及び遵守状況のチェック表	P-12
12.代表者による全体の評価と見直し	P-13

1.事業活動の概要

①名称及び代表者

事業所： ニューテクノファースト 株式会社
代表者： 代表取締役 川野 智史

②所在地

所在地： 本社： 〒870-0318 大分県大分市大字丹生473番地の1
 中間処理場：〒870-0276 大分県大分市大字宮河内字貢迫4195番1

③環境管理の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者： 河野 智和
E21事務局： 幸 勝正
連絡先 TEL： 097-592-5000
連絡先 FAX： 097-592-5331
E-meil:ntf-yuki@if-n.ne.jp

④事業内容

- 1.環境整備業：管清掃・側溝清掃等の洗浄作業、TVカメラ調査・補修業務等
- 2.産業廃棄物収集運搬業：トラック、吸引車等による産業廃棄物の収集運搬
- 3.産業廃棄物処理業：産業廃棄物(汚泥・廃酸・廃アルカリ)の中間処理
- 4.改良土の販売

⑤事業の規模

設立： 1967年（昭和42年）10月
創業： 1967年（昭和42年）10月
資本金： 45,000,000円
従業員： 26名（役員3名含む、パート含まず）

	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
売上	百万円	402	317	374	303	293
従業員数	人	31	30	30	25	27
土地面積	m ²	14,782	14,782	14,782	14,782	14,782
床面積	m ²	898.73	898.73	921.33	921.33	921.33

⑥太陽光発電

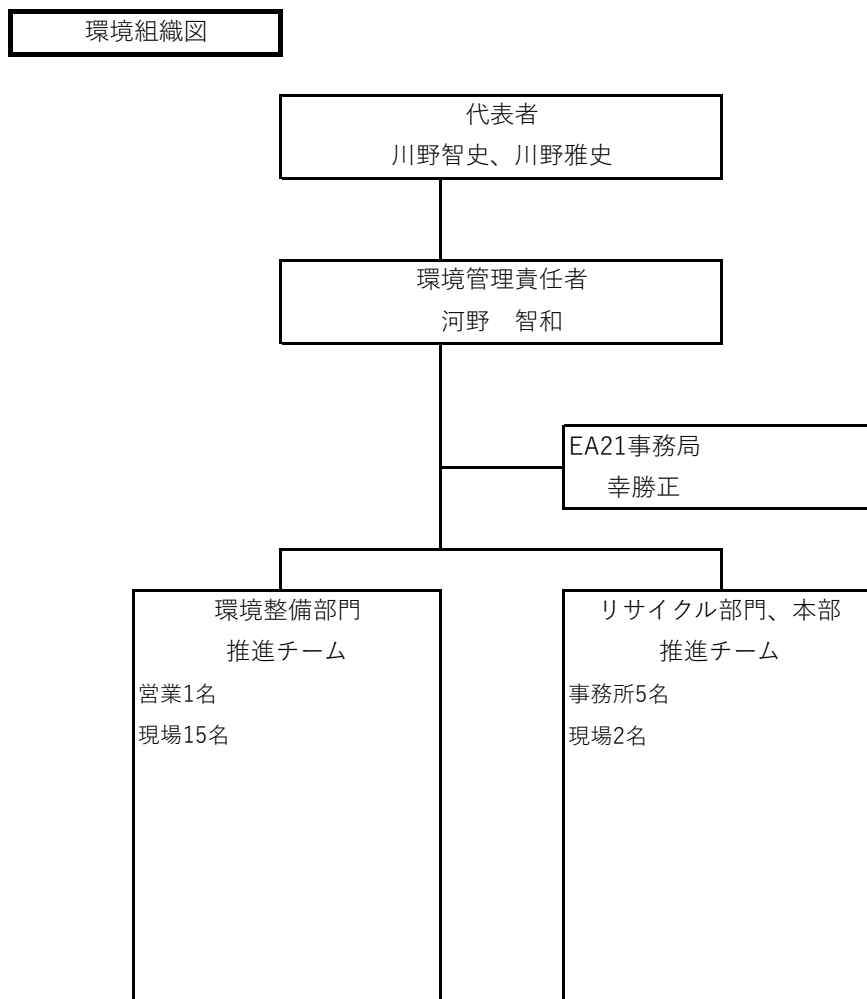
（発電量114,299kWh売電）－（エネルギー使用量53,430kWh購入電力）

⑦事業年度

期首 6月 ～ 期末 5月

⑧対象範囲

全組織・全活動

**EA21推進体制 役割**

代表者：

環境経営方針の制定
 環境組織の明確化、必要な資源の投入
 環境管理責任者の任命
 教育・訓練の総括(緊急事態の想定・訓練含む)
 全体の評価と見直し
 経営における課題とチャンスを確認にする

環境管理責任者：

環境経営目標の策定
 マネジメントシステムの構築・実施・維持
 環境経営計画の作成
 環境経営計画進捗の把握
 目標に対する実績や問題・改善の社長報告
 部門の計画立案
 テーマ毎の目標達成に向けた推進役
 教育・訓練の実施(緊急事態の想定・訓練含む)

EA21事務局：

環境コミュニケーションの総括窓口
 運用上の事務管理
 教育・訓練の計画・実施
 目標管理表の作成と進捗管理
 環境管理責任者への報告

各推進チーム：

環境経営計画の実施
 環境経営計画状況の確認と記録
 部門統括責任者への報告
 改善提案
 作業教育の実施
 環境管理責任者への報告

産業廃棄物(特別産業廃棄物)収集運搬許可内容

産業廃棄物収集運搬業				許可項目																			
都道府県	積替保管（有・無）	許可年月日及び有効期限	許可番号	産業廃棄物																			
				廃プラスチック類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	銻さい	燃え殻	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	水銀含有ばいじん等
大分県	無	R5.8.18	04402006103	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
		R12.8.17																					
福岡県	無	R1.9.29	04000006103	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		R6.9.28																					
佐賀県	無	R2.1.7	04101006103	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
		R7.1.6																					
長崎県	無	R1.12.2	04200006103	●		●	●	●	●	●		●		●		●	●	●	●	●	●	●	●
		R6.12.1																					
熊本県	無	R1.8.8	04305006103	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
		R6.7.9																					
宮崎県	無	R1.9.9	04500006103	●		●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		R6.9.8																					
鹿児島県	無	R1.8.20	04601006103	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
		R6.8.19																					
山口県	無	R4.4.18	03500006103	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
		R9.4.17																					
愛媛県	無	R5.2.14	03807006103	●		●			●	●		●		●			●	●	●	●			
		R10.1.15																					
広島県	無	R4.4.21	03400006103	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		R9.3.20																					

産業廃棄物中間処理許可内容

事業区分	中間処理：(中和、固化)
廃棄物の種類	中間処理(中和)：廃酸、廃アルカリ
	中間処理(固化)：汚泥（有機汚泥及び無機汚泥） 廃プラスチック類(粒・粉状のものに限る)
	以上4種類。ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まない。特別管理産業廃棄物であるものを除く。
許可番号	08820006103
許可年月日、有効期限	令和5年8月18日～令和12年8月17日

事業の用に供する全ての施設

許可施設

許可の種類	中和処理施設																			
設置場所	大分市大字宮河内字貢迫4195番1																			
施設能力			30.4m ³ /日（8時間/日）																	
設置年月日	平成9年3月25日																			
種類			廃酸、廃アルカリ																	

許可の種類		固化施設（固定式兼移動式）B Z 210																		
設置場所		大分市大字宮河内字貢迫4195番1、4																		
施設能力		1,200m ³ /日（8時間/日）																		
設置年月日	平成26年3月13日																			
種類		汚泥（有機汚泥及び無機汚泥）、廃プラスチック類（粒・粉状に限る）																		

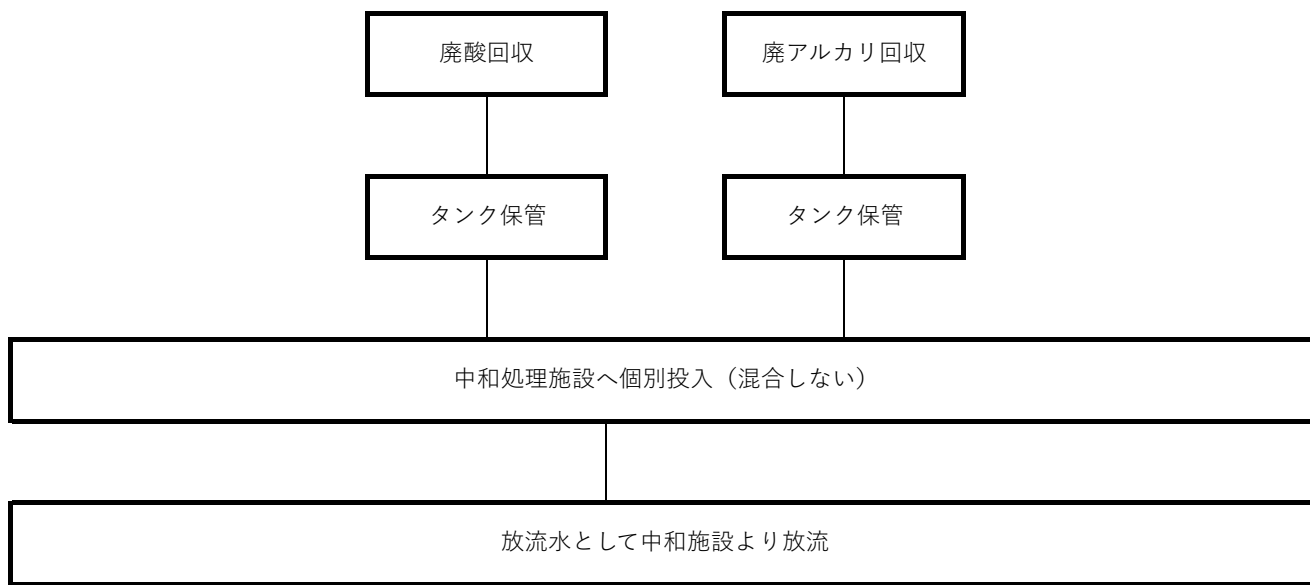
建設業許可

許可の種類		一般建設業の許可																		
許可番号		大分県知事許可(般-2)第13804号																		
許可の取得年月日		令和2年4月28日																		
許可の有効期限		令和7年4月27日																		
建設業の種類		土木、とび・土工、舗装、しゅんせつ、解体工事業																		

中和施設

許可の種類	中和処理施設
設置場所	大分市大字宮河内字貢迫4195番1
施設能力	30.4m ³ /日（8時間/日）
設置年月日	平成9年3月25日
廃棄物の種類	廃酸、廃アルカリ

中間処理施設

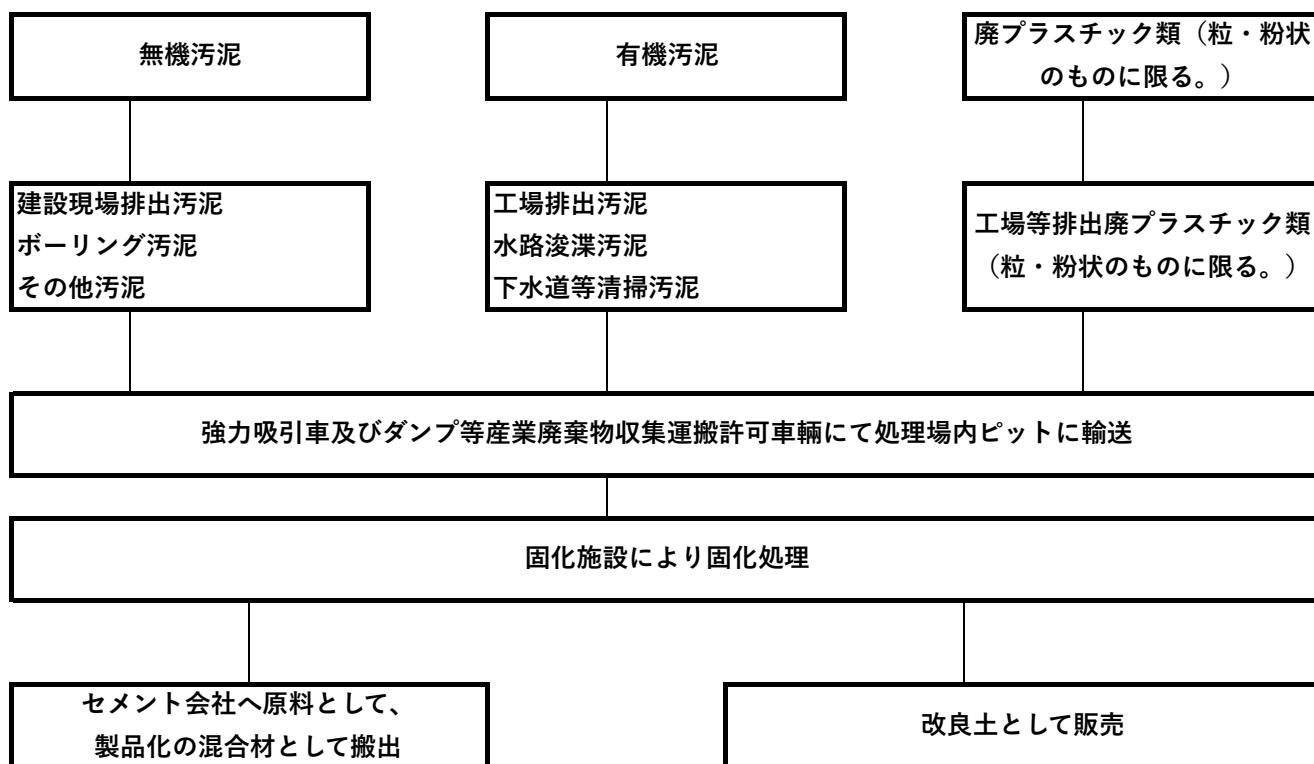


※毎月放流水については成分分析を実施

固化施設

許可の種類	固化施設（固定式兼移動式）B Z 210
設置場所	大分市大字宮河内字貢迫4195番1、4
施設能力	1,200m ³ /日（8時間/日）
設置年月日	平成26年3月13日
廃棄物の種類	汚泥（有機汚泥及び無機汚泥）、廃プラスチック類（粒・粉状に限る）

中間処理施設



保有車両・機械

種類	台数	種類	台数	種類	台数
10 t 強力吸引車	5 台	10 t 深型ダンプ	2 台	自軽四	1 台
4 t 強力吸引車	1 台	大型アームロール	2 台	4 t 路面清掃車	2 台
7 t 給水車	1 台	4 t ダンプ	1 台	測量車	1 台
高圧洗浄車	2 台	4 t 後方積載型クレーン	1 台	業務車	1 台
超高圧洗浄車	2 台	10 t 後方積載型クレーン	1 台	土質改良機	1 台
カメラ車	2 台	ダブルピック	2 台		
10 t ダンプ	1 台				

4. 受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量等

(1) 産業廃棄物

○ 収集運搬量、処理量等をご記入ください。

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
汚泥	t	8,412.16
廃プラスチック類	t	1,368.38
混合廃棄物	t	1,242.86
カラスくず等826.41 t、木くず154.59 t、廃油25.19 t、繊維くず15.22 t、コンクリートがら4.19 t、石綿含有産業廃棄物1.10 t、	t	1,031.34
合計	t	12,054.74

(ii) 中間処理

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理		汚泥	固化	t	4,560.82
		廃酸	中和	t	0.38
		廃アルカリ	中和	t	0.38
				t	
再資源化等		汚泥	改良土販売	t	768.00
				t	
				t	
				t	
		小計		t	768.00
合計				t	4,561.58

(iii) 最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
		t	
		t	
		t	
合計		t	

(iv) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

産業廃棄物 中間処理後の	最終処分	廃棄物の種類		処理方法等		単位	処分量等
						t	
						t	
						t	
						t	
	小計				t		
	(再資源化等) 中間処理	廃棄物の種類		処理方法等		単位	処理量等
		汚泥		(委託) セメント原料化		t	203.16
		汚泥		(委託) 製品化		t	2,745.20
						t	
						t	
	小計				t	2,948.36	
合計					t	2,948.36	

ニューテクノファースト 株式会社 環境経営方針

1.環境理念

当社は、土木建設業者として、また産業廃棄物収集運搬処分業者として、事業活動において環境問題に対して継続的改善が重要であると認識し、環境負荷の低減と、地域の環境保全に対する活動、また産業廃棄物の再利用、再使用、再資源化を推進する活動を自主的、積極的に取り組みます。

2.行動指針

当社は、環境理念に基づき、環境目標、活動計画を定め、環境に配慮した事業活動に継続的に取り組んでいきます。

- ①法令、規則を遵守します。
- ②人材育成(環境意識向上・産業廃棄物の知識向上)に努めます。
- ③産業廃棄物の適正処理及びリサイクル化の積極的推進。
 - ・SDGsゴール12:持続可能な生産消費形態を確保する
- ④電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素の排出量の削減
 - ・SDGsゴール13:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- ⑤水資源の排出量の削減
 - ・SDGsゴール6:すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保するための緊急対策を講じる
- ⑥グリーン購入の推進
 - ・SDGsゴール12:持続可能な生産消費形態を確保する
- ⑦地域活動、ボランティア活動へ積極的に参加する
 - ・SDGsゴール11:包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

これらについて環境経営目標・計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

3.環境関連法規則や当社が約束したことを遵守します。

4.この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

燃料消費削減は環境負荷軽減と共にコストダウンに繋がり地球にも会社にもよいことです。環境負荷に対する意識を変え行動を変え二酸化炭素排出削減に貢献しましょう。ゴミを見る角度を変えて資源として利用できないかを考えて毎日仕事に取り組みたいものです。

策定日:平成26年8月26日
更新日:令和5年6月1日

ニューテクノファースト 株式会社
代表取締役 川野 智史

環境経営目標

作成日

2024/6/1

【各年度の対象期間は、決算年度 6月～翌年5月】

環境経営方針の番号	選択課題	基準年度 令和4年度実績	令和5年度 目標	令和6年度 目標	令和7年度 目標
1 	二酸化炭素排出量削減	465,986 kg-CO2	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
1-1 	電力消費量削減(本社)	51,995 kWh	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
	電力消費量削減(処分場)	3,248 kWh	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
1-2 	ガソリン消費量削減	6,915 ℓ	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
1-3 	軽油消費量削減	163,628 ℓ	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
2 	固化汚泥 ※ リサイクル率	99 %	100 %	100 %	100 %
	廃棄物排出量削減 紙くず	2.7 t	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
	廃棄物排出量削減 廃プラスチック	2.9 t	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
3 	水使用量削減	256 m³	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
4 	グリーン購入の推進	64品種	66品種	68品種	70品種
5 	環境配慮製品の販売 (改良土)	62t	100t	150t	200t
6 	社会貢献への参加	大分県産廃パトロール、 環境月間街頭啓発活動、 災害予防、復旧対策	大分県産廃パトロール、環 境月間街頭啓発活動、災 害予防、復旧対策	大分県産廃パトロール、環 境月間街頭啓発活動、災 害予防、復旧対策	大分県産廃パトロール、環 境月間街頭啓発活動、災 害予防、復旧対策

・令和4年度は九州電力2021年度の調整後ガス係数-CO2/kWhを用いています。(0.382)

※搬入された汚泥は固化処理しセメント原料、改良土等にリサイクルされます。

環境経営目標・計画管理表

作成日 2024/6/24

対象期間（令和5年6月～令和6年5月）

環境経営方針の番号	環境経営目標		R5年度	R6年度	R7年度	中期計画計
1 	二酸化炭素排出量削減 R1年度実績値より 毎年1%づつ削減 単位: kg-CO2	基準値 目標値 実績 結果 評価	465,986	465,986	620,219	1,552,191
			461,326	456,666	601,612	1,519,605
			430,612			430,612
			○			
			順調に排出抑制できている			
1-1 	電力消費量削減(本社) R1年度実績値より 毎年1%づつ削減 単位: kWh	基準値 目標値 実績 結果 評価	51,995	51,995	51,995	155,985
			51,475	50,955	50,435	152,865
			50,306			50,306
			○			
			節電意識が高まっている			
	電力消費量削減(処分場) R1年度実績値より 毎年1%づつ削減 単位: kWh	基準値 目標値 実績 結果 評価	3,248	3,248	3,248	9,744
			3,216	3,183	3,151	9,549
1-2 	ガソリン消費量削減 R1年度実績値より 毎年1%づつ削減 単位: L	基準値 目標値 実績 結果 評価	6,915	6,915	6,915	20,745
			6,846	6,777	6,708	20,330
			6,662			6,662
			○			
			営業車入れ替えの成果が継続できている。			
1-3 	軽油消費量削減 R1年度実績値より 毎年1%づつ削減 単位: L	基準値 目標値 実績 結果 評価	163,628	163,628	163,628	490,884
			161,992	160,355	158,719	481,066
			150,574			150,574
			○			
			作業効率向上、消費量削減意識の向上			
2 	固化汚泥 リサイクル率 100%維持	基準値 目標値 実績 結果 評価	99%	100%	100%	100%
			100%	100%	100%	100%
			100%			98%
			○			
			100%リサイクルできた			
	廃棄物排出量削減 紙くず R1年度実績値より 毎年1%づつ削減 単位: t	基準値 目標値 実績 結果 評価	2.70	2.70	2.70	8.10
			2.67	2.65	2.62	7.94
			2.70			2.70
			○			
			目標達成はできなかったが、昨年度より増加することは阻止できた			
	廃棄物排出量削減 廃プラスチック R1年度実績値より 毎年1%づつ削減 単位: t	基準値 目標値 実績 結果 評価	2.90	2.90	2.90	8.70
			2.87	2.84	2.81	8.53
			5.66			5.66
			×			
			次年度の課題。削減の声掛け強化			
3 	水使用量削減 R1年度実績値より 毎年1%づつ削減 単位: m³	基準値 目標値 実績 結果 評価	256	256	256	768
			253	251	248	753
			316			316
			×			
			昨年より使用量が増えている。社員全員の節水意識を高める			
4 	グリーン購入の推進 (品目)	目標値 実績	66 68	68	70	204 68
5 	環境配慮製品の販売 (改良土 t)	目標値 実績	100 768	150	200	450 768
6 	社会貢献への参加		大分県産業資源循環協会/トリロール、環境月間街頭啓発活動、交通安全街頭指導への参加	大分県産業資源循環協会/トリロール、環境月間街頭啓発活動、交通安全街頭指導への参加	大分県産業資源循環協会/トリロール、環境月間街頭啓発活動、交通安全街頭指導への参加	大分県産業資源循環協会/トリロール、環境月間街頭啓発活動、交通安全街頭指導への参加

・令和4年度の調整後ガス係数-CO2/kWhを用いています。(0.382)
・結果の記載、達成率95%以内は○。達成率95%～85%は△。達成率85未満は×

月別環境経営目標・計画管理表

・結果の記載、達成率95％以内は○。達成率95％～85％は△。達成率85％以下は×。

対象期間（令和5年6月～令和6年5月）

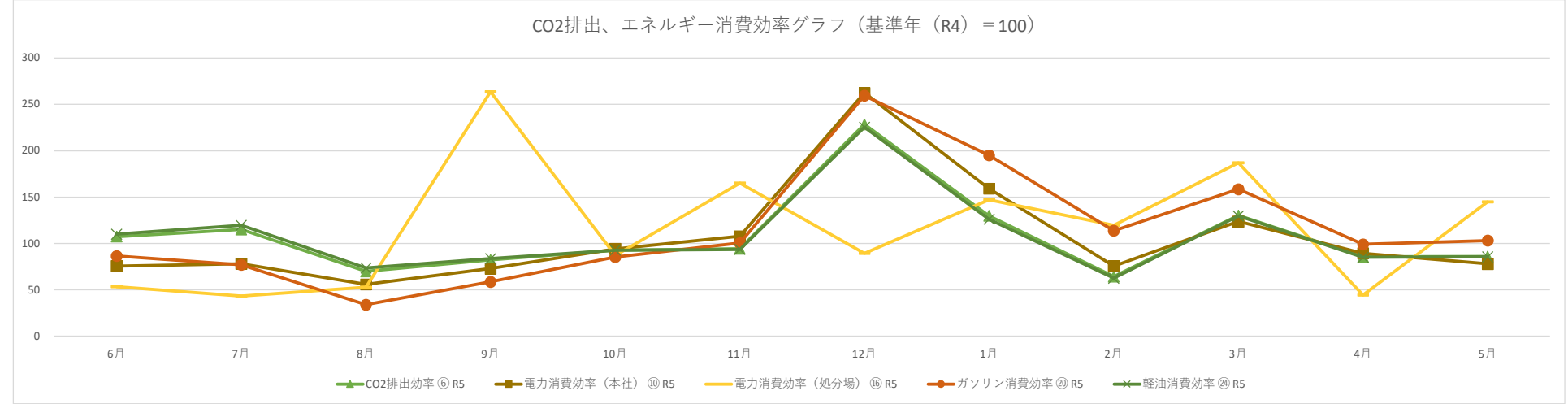
環境経営方針の番号	環境経営目標		6月	7月	8月	第1 四半期	9月	10月	11月	第2 四半期	12月	1月	2月	第3 四半期	3月	4月	5月	第4 四半期	年度計
1	二酸化炭素排出量削減 基準年度対比 △1％ 単位：kg-CO ₂	R4年度	49,269	48,888	43,175	141,332	40,931	38,106	32,561	111,598	32,688	30,816	38,137	101,641	41,232	33,826	36,356	111,414	465,986
		目標値	48,777	48,399	42,744	139,919	40,521	37,725	32,235	110,482	32,361	30,508	37,755	100,625	40,820	33,487	35,993	110,300	461,326
		実績	33,157	32,351	31,839	97,348	39,758	38,916	39,290	117,965	34,684	32,810	41,272	108,766	43,063	32,466	31,005	106,534	430,612
		結果	○	○	○	○	○	○	×	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○
		評価	大幅に消費量削減できている				消費量削減の声掛け継続				廃棄物の削減に力を入れる必要有				消費量削減できている				目標達成
1-1	電力消費量削減(本社) 基準年度対比 △1％ 単位：kWh	R4年度	4,090	4,830	5,286	14,206	4,128	3,673	3,595	11,396	5,174	5,458	4,876	15,508	4,112	3,477	3,296	10,885	51,995
		目標値	4,049	4,782	5,233	14,064	4,087	3,636	3,559	11,282	5,122	5,403	4,827	15,353	4,071	3,442	3,263	10,776	51,475
		実績	3,904	4,700	4,882	13,486	4,525	3,690	3,801	12,016	4,777	4,738	4,474	13,989	4,523	3,195	3,097	10,815	50,306
		結果	○	○	○	○	△	○	△	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○
		評価	消費量削減できている				節電意識を高める				消費量削減できている				使わない電気は消す				目標達成
	電力消費量削減(処分場) 基準年度対比 △1％ 単位：kWh	R4年度	229	294	387	910	314	288	236	838	188	279	301	768	256	226	250	732	3,248
		目標値	227	291	383	901	311	285	234	830	186	276	298	760	253	224	248	725	3,216
		実績	246	285	364	895	285	304	245	834	234	247	255	736	259	195	205	659	3,124
		結果	△	○	○	○	○	△	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
1-2	ガソリン消費量削減 基準年度対比 △1％ 単位：L	R4年度	705	703	573	1,980	521	575	497	1,593	573	509	593	1,674	696	440	532	1,667	6,915
		目標値	698	696	567	1,961	516	569	492	1,577	568	503	587	1,658	689	436	526	1,651	6,846
		実績	588	695	872	2155	709	637	564	1909	535	361	362	1,258	597	365	377	1,339	6,662
		結果	○	○	×	△	×	△	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		評価	無駄な点灯を防ぐよう努める				施設高稼働				節電意識向上				よく削減できた				目標達成
1-3	軽油消費量削減 基準年度対比 △1％ 単位：L	R4年度	17,550	17,288	15,143	49,981	14,512	13,455	11,426	39,393	11,181	10,463	13,269	34,913	14,482	11,978	12,882	39,342	163,628
		目標値	17,375	17,115	14,992	49,481	14,367	13,321	11,311	38,999	11,069	10,359	13,136	34,563	14,337	11,858	12,753	38,949	161,992
		実績	11,525	11,003	10,614	33,141	13,841	13,702	13,896	41,440	12,020	11,463	14,727	38,210	15,199	11,569	11,014	37,782	150,574
		結果	○	○	○	○	○	○	×	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○
		評価	とても消費量削減できている				消費量削減できていない				遠征が多く使用料が増加した				消費量削減できている				目標達成
2	固化汚泥 リサイクル率 100％維持 単位：％	R4年度	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	97％	77％	100％	83％	100％	100％	100％	100％	99％
		目標値	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％
		実績	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％	100％
		結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		評価	リサイクルできている				リサイクルできている				リサイクルできている				リサイクルできている				目標達成
	廃棄物排出量削減 紙くず 基準年度対比 △1％ 単位：t	R4年度	0.23	0.23	0.23	0.68	0.23	0.23	0.23	0.68	0.23	0.23	0.23	0.68	0.23	0.23	0.23	0.68	2.70
		目標値	0.22	0.22	0.22	0.67	0.22	0.22	0.22	0.67	0.22	0.22	0.22	0.67	0.22	0.22	0.22	0.67	2.67
		実績	0.45	0.00	0.00	0.45	0.60	0.00	0.00	0.60	0.60	0.60	0.00	1.20	0.15	0.00	0.30	0.45	2.70
		結果	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○
		評価	少し目標達成できず				ゴミを出さない意識を持つ				裏紙を利用する				電子化により紙の使用量減				目標達成
	廃棄物排出量削減 廃プラスチック 基準年度対比 △1％ 単位：t	R4年度	0.24	0.24	0.24	0.72	0.24	0.24	0.24	0.72	0.24	0.24	0.24	0.72	0.24	0.24	0.24	0.72	2.90
		目標値	0.24	0.24	0.24	0.72	0.24	0.24	0.24	0.72	0.24	0.24	0.24	0.72	0.24	0.24	0.24	0.72	2.87
		実績	0.53	0.70	0.00	1.23	0.70	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	0.00	1.40	1.23	0.58	0.53	2.33	5.66
		結果	×	×	○	×	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×
		評価	分別を徹底する				削減意識の低下				再利用できないものはないか考える				継続して使えるものを購入する				次年度への課題
3	水使用量削減 基準年度対比 △1％ 単位：m ³ 比較のため1月平均に。	R4年度	27.5	27.5	23.5	79	23.5	18.5	18.5	61	19.0	19.0	21.0	59	21.0	18.5	18.5	58.0	256.0
		目標値	27.2	27.2	23.3	78	23.3	18.3	18.3	60	18.8	18.8	20.8	58	20.8	18.3	18.3	57.4	253.4
		実績	26.0	26.0	28.0	80	28.0	30.0	30.0	88	26.5	26.5	25.0	78	25.0	22.5	22.5	70.0	316.0
		結果	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4	グリーン購入の推進	評価	少し目標に届かず				劣化している設備がないか点検				蛇口の閉め忘れを防ぐ				漏水確認の為半年に1回点検を行う				節水の呼びかけ強化
		(品目)	6	4	4	14	8	5	3	16	8	10	0	18	1	9	10	20	68
5	環境配慮製品の販売	改良土(t)				0				0				0	46	722		768	768
6	社会貢献への参加		不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃	不法投棄パトロール、交通安全街頭指導、道路清掃

・令和4年度の調整後ガ係数-CO2/kWhを用いています。(0.382)

CO2排出、エネルギー消費効率対比表

令和5年度

実績対比	番号	年度	6月	7月	8月	第1四半期	9月	10月	11月	第2四半期	12月	1月	2月	第3四半期	3月	4月	5月	第4四半期	年度合計
売上実績（千円）	①	R4	27,316	26,995	25,284	79,595	25,605	24,141	21,075	70,821	15,491	26,227	26,184	67,902	26,337	23,627	34,410	84,374	302,692
	②	R5	19,740	20,550	13,065	53,355	20,463	22,829	24,005	67,297	37,547	36,276	18,212	92,035	35,833	19,409	25,223	80,465	293,152
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	③	R4	49,269	48,888	43,175	141,332	40,931	38,106	32,561	111,598	32,688	30,816	38,137	101,641	41,232	33,826	36,356	111,414	465,986
	④	R5	33,157	32,351	31,839	97,348	39,758	38,916	39,290	117,965	34,684	32,810	41,272	108,766	43,063	32,466	31,005	106,534	430,612
(③/①)/(④/②)*100	⑤	R4	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
CO2排出効率	⑥	R5	107	115	70	97	82	93	94	90	228	130	64	127	130	86	86	100	105
電力消費量（本社） (kWh)	⑦	R4	4,090	4,830	5,286	14,206	4,128	3,673	3,595	11,396	5,174	5,458	4,876	15,508	4,112	3,477	3,296	10,885	51,995
	⑧	R5	3,904	4,700	4,882	13,486	4,525	3,690	3,801	12,016	4,777	4,738	4,474	13,989	4,523	3,195	3,097	10,815	50,306
(⑦/①)/(⑧/②)*100	⑨	R4	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
電力消費効率（本社）	⑩	R5	76	78	56	71	73	94	108	90	263	159	76	150	124	89	78	96	100
汚泥受入量(t)	⑪	R4	548	554	553	1,655	301	563	316	1,179	233	266	385	884	233	288	348	869	4,588
	⑫	R5	315	233	275	823	720	517	541	1,778	259	346	390	996	442	110	413	965	4,562
電力消費量（処分場） (kWh)	⑬	R4	229	294	387	910	314	288	236	838	188	279	301	768	256	226	250	732	3,248
	⑭	R5	246	285	364	895	285	304	245	834	234	247	255	736	259	195	205	659	3,124
(⑬/①)/(⑭/②)*100	⑮	R4	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
電力消費効率（処分場）	⑯	R5	53	43	53	51	264	87	165	151	89	147	120	118	187	44	145	123	103
⑨ガソリン消費量(L)	⑰	R4	705	703	573	1,980	521	575	497	1,593	573	509	593	1,674	696	440	532	1,667	6,915
	⑱	R5	588	695	872	2,155	709	637	564	1,909	535	361	362	1,258	597	365	377	1,339	6,662
(⑰/①)/(⑱/②)*100	⑲	R4	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
ガソリン消費効率	⑳	R5	87	77	34	62	59	85	100	79	260	195	114	180	159	99	103	119	101
⑪軽油消費量(L)	㉑	R4	17,550	17,288	15,143	49,981	14,512	13,455	11,426	39,393	11,181	10,463	13,269	34,913	14,482	11,978	12,882	39,342	163,628
	㉒	R5	11,525	11,003	10,614	33,141	13,841	13,702	13,896	41,440	12,020	11,463	14,727	38,210	15,199	11,569	11,014	37,782	150,574
(⑰/①)/(⑱/②)*100	㉓	R4	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
軽油消費効率	㉔	R5	110	120	74	101	84	93	94	90	225	126	63	124	130	85	86	99	105



環境経営計画 令和5年度

作成日 2023/6/1(木)

評価日 2024/5/31(金) 幸

環境経営方針の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	対象部門	いつ	評価
1	二酸化炭素排出量削減				
1-1	電力消費量削減	1. 昼休みの消灯	全部門	毎日	○
		2. 冷暖房の温度設定を過剰にしない	事務所・控室	毎日	○
		3. 使用していないパソコン・電化製品の電源を切る	事務所	毎日	○
		4. 残業時間の短縮	事務所	水曜日	○
		5. 倉庫の電灯の消灯	倉庫・工場	毎日	○
		6. 窓のブラインドの効果的使用	事務所・控室	毎日	○
		7. 溶接機・ポンプ等の未使用時ブレーカーを落とす	倉庫・工場	毎日	○
		8. 無駄にコピー・印刷をしない	事務所	毎日	○
1-2	ガソリン消費量削減	1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	運転者	毎日	○
		2. 通行ルートの効率化	運行管理者	週一回	○
		3. オイル交換を定期的 to 実施	整備管理者	走行距離	○
		4. アイドリングストップ	運行管理者	毎日	○
1-3	軽油消費量削減	1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	運転者	毎日	○
		2. 通行ルートの効率化	運行管理者	週一回	○
		3. オイル交換を定期的 to 実施	整備管理者	走行距離	○
		4. アイドリングストップ	運行管理者	毎日	○
2	廃棄物排出量削減	1. ごみの分別の徹底	全部門	毎日	○
		2. 社内書類の裏紙コピーの励行	事務所	毎日	○
		3. 有機汚泥・無機汚泥の分別の徹底による改良土化	処分場	毎日	○
		4. 缶・ペットボトルの他ゴミとの分別によるリサイクル	全部門	週2回	○
3	水使用量削減	1. 車両洗車時のこまめな節水	全部門	随時	○
		2. 使用量のデータ化による節水	事務所	隔月一回	○
		3. 汚泥の上水の再利用化	処分場	随時	×
		4. 井戸濁り水の再利用化	本社	随時	○
4	グリーン購入の推進	1. グリーンマーク製品や環境認証された企業の製品を極力購入する	事務所	購入検討時	△
		2. 現取引先だけでなく、インターネットで調査し購入	事務所	購入検討時	○
		3. リサイクル商品を積極的に購入	事務所	購入検討時	○
		4. 取引先にもグリーンマーク商品等を紹介	事務所	随時	×
5	環境配慮製品の販売	1. 汚泥の改良土販売営業強化	処分場	随時	○
		2. 分別の徹底によるリサイクル化を推進	事務所	毎日	○
		3. 有価物の知識をあげ、取引先と交渉	事務所	随時	○
6	社会貢献への参加	1. 所属団体・公共機関のボランティアへの参加	社長	開催時	○
		2. 場内及び入り口付近の道路の清掃	事務所	毎朝	○
		3. 自治会等の清掃活動への積極的参加	環境事業部	市委託時	○

環境経営計画

令和6年度

作成日 2024/5/31

評価日 令和 年 月 日

環境経営方針の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	対象部門	いつ	評価
1	二酸化炭素排出量削減				
1-1	電力消費量削減	1. 昼休みの消灯	全部門	毎日	
		2. 冷暖房の温度設定を過剰にしない	事務所・控室	毎日	
		3. こまめな電源管理	処分場	毎日	
		4. 残業時間の短縮	事務所	水曜日	
		5. 倉庫の電灯の消灯	倉庫・工場	毎日	
		6. 窓のブラインドの効果的使用	事務所・控室	毎日	
		7. 溶接機・ポンプ等の未使用時ブレーカーを落とす	倉庫・工場	毎日	
		8. 無駄にコピー・印刷をしない	事務所	毎日	
1-2	ガソリン消費量削減	1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	運転者	毎日	
		2. 通行ルートの効率化	運行管理者	週一回	
		3. オイル交換を定期的 to 実施	整備管理者	走行距離	
		4. 急加速・急発進をやめる	運行管理者	毎日	
1-3	軽油消費量削減	1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	運転者	毎日	
		2. 通行ルートの効率化	運行管理者	週一回	
		3. オイル交換を定期的 to 実施	整備管理者	走行距離	
		4. 急加速・急発進をやめる	運行管理者	毎日	
2	廃棄物排出量削減	1. マイボトル持参	全部門	毎日	
		2. 社内書類のペーパーレス化の励行	事務所	毎日	
		3. 有機汚泥・無機汚泥の分別の徹底による改良土化	処分場	毎日	
		4. 缶・ペットボトルの他ゴミとの分別によるリサイクル	全部門	週二回	
3	水使用量削減	1. 車両洗車時のこまめな節水	全部門	随時	
		2. 使用量のデータ化による節水	事務所	隔月一回	
		3. 蛇口の閉め忘れチェック	全部門	随時	
		4. 井戸濁り水の再利用化	本社	随時	
4	グリーン購入の推進	1. グリーンマーク製品や環境認証された企業の製品を極力購入する	事務所	購入検討時	
		2. 現取引先だけでなく、インターネットで調査し購入	事務所	購入検討時	
		3. リサイクル商品を積極的に購入	事務所	購入検討時	
		4. 取引先にもグリーンマーク商品等を紹介	事務所	随時	
5	環境配慮製品の販売	1. 汚泥の改良土販売営業強化	処分場	随時	
		2. 分別の徹底によるリサイクル化を推進	事務所	毎日	
		3. 有価物の知識をあげ、取引先と交渉	事務所	随時	
6	社会貢献への参加	1. 所属団体・公共機関のボランティアへの参加	社長	開催時	
		2. 場内及び入り口付近の道路の清掃	事務所	毎朝	
		3. 自治会等の清掃活動への積極的参加	環境事業部	市委託時	

実施している取り組み

<井戸水ろ過塔>

濁った井戸水をろ過し洗車等に利用しています。



<紙の削減・ペーパーレス化>

安全大会で書類を配らずプロジェクターを使用。



<ゴミの持ち帰り促進・節水の呼びかけ>

廃プラスチック、水使用量の削減意識を向上させる。



<ゴミの分別の徹底>

廃プラスチック削減対策



<社会への貢献>

不法投棄パトロール
街の景観の維持保全



環境関連法令等の一覧及び遵守状況のチェック一覧

	関連法令	チェック項目	チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	①産業廃棄物マニフェスト	マニフェストの管理状況確認	事業部長	R6.5.20	○
		②廃棄物委託契約書	委託契約書の契約内容確認	社長	R6.5.20	○
		③保管場所表示・保管基準遵守	保管場所における遵守状況確認	事業部長	R6.5.20	○
		④管理票の交付状況定期報告	報告状況確認	事業部長	R6.5.20	○
		⑤廃棄物適正処理及び不法投棄の撲滅	処理状況及び最終処分状況確認	事業部長	R6.5.20	○
		⑥各県の産業廃棄物収集運搬業許可の取得及び更新	期限の確認及び許可書内容の確認	事業部長	R6.5.20	○
		⑦大分市の産業廃棄物処理業許可の取得及び更新	期限の確認及び許可書内容の確認	事業部長	R6.5.20	○
2	建設リサイクル法	発注者への報告義務遵守	マニフェストの管理状況確認	事業部長	R6.5.20	○
3	資源有効利用促進法	再資源化等の実施義務の遵守	処理状況及び最終処分状況確認	事業部長	R6.5.20	○
4	水質汚濁防止法	排水基準の遵守	毎月の水質検査内容確認	事業部長	R6.5.20	○
		該当する工事の場合は排水の汚染状況確認	MSDS及び使用材料の確認	事業部長	R6.5.20	○
5	消防法	少量危険物貯蔵取扱いの届け出	届出状況確認	管理部長	R6.5.20	○
		貯蔵及び取扱に関する遵守事項	貯蔵状況及び量の確認	管理部長	R6.5.20	○
6	道路交通法	安全速度の遵守	デジタルタコメーターの確認	運行管理者	R6.5.20	○
		過積載の禁止	積載量のチェック及び調査	事業部長	R6.5.20	○
6	貨物自動車運送事業法 道路運送車両法	運行管理者の選任・届出	届出状況確認	管理部長	R6.5.20	○
		整備管理者の選任・届出	届出状況確認	管理部長	R6.5.20	○
		青ナンバー車両の3か月点検及び日常管理	実施状況確認	整備管理者	R6.5.20	○
		荷崩れ・飛散防止の為の措置の遵守	実施状況確認	運行管理者	R6.5.20	○
7	労働安全衛生法	安全管理者・衛生管理者の選任・届出	届出状況確認	管理部長	R6.5.20	○
		定期的な健康診断の実施	実施状況確認	衛生管理者	R6.5.20	○
8	大気汚染防止法	アイドリングストップ運動	実施状況確認	運行管理者	R6.5.20	○
9	消防法	防火管理者による火災予防の訓練及び管理	実施状況確認	社長	R6.5.20	○
10	就業規則		定期確認	社長	R6.5.20	○
11	大分県条例		定期確認	社長	R6.5.20	○
12	大分市条例		定期確認	社長	R6.5.20	○
13	浄化槽法	年一回の検査	検査記録確認	管理部長	R6.5.20	○
14	フロン排出抑制法	毎月1回チェック	管理表に記録確認	管理部長	R6.5.20	○

・評価基準 ○…適合 ×…不適合

代表者による全体の評価と見直し

令和5年度の期間計
全体の評価

	評価事項	評価結果	改善内容	期限	改善責任者
1	関係法令等の遵守状況	問題なく遵守できている			
2	環境目標の達成度 活動の進捗状況の 確認	①CO2排出量削減目標達成	廃棄物削減の呼びかけ	令和6年度継続実施	環境管理責任者
		②電力消費量削減目標達成	電気の消し忘れ防止、節電ポスター掲示	令和6年度継続実施	環境管理責任者
		③燃料消費量削減目標達成	アイドリングストップ運動強化	令和6年度継続実施	環境管理責任者
		④固化汚泥リサイクル率100%維持目標達成	成分把握の徹底	令和6年度継続実施	環境管理責任者
		⑤水使用量削減未達	張り紙の掲示、閉め忘れチェック	令和6年度継続実施	環境管理責任者
		⑥改良土販売目標大幅達成	客先への呼びかけ継続	令和6年度継続実施	環境管理責任者
3	環境に関する苦情 や要望対応状況	苦情・要望等発生なし			
4	実施体制	できている			
5	その他指示事項	特になし			

- ・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果、並びに違反、訴訟等の有無
施工期間に於いて法令違反等は有りませんでした。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消防法、騒音規制法、振動規制法などの違反はありません。
訴訟・苦情等ありません。

・代表者による全体の評価の見直し

エコアクション21の意義を理解し、当事者意識をもって努力すれば結果が出るはず。
繁忙期の燃料使用料の増加があったものの、急発進、急加速をしないことで消費量削減へとつなげた。
運転手の意識が変わり、行動に移せた。結果的に目標値より約11%の消費量を削減できた。
昨年度の課題となっていた処分場の電力消費量だが、過稼働を減らし無駄な消費を抑えた。
次年度は昨年度より効率よく稼働させ、さらなる電力消費へつなげる。
積極的な営業活動の結果、改良土販売数は目標の7.5倍の数値を出すことができた。
次年度も目標値を大幅に上回るため、営業活動に力を入れる。
今年度は廃プラスチック類の排出量と水使用量が前年度に比べ大幅に増加している。
分別を徹底しごみの排出量を減らす、節水を心掛けるなど小さなことでも一つ一つ積み重ねていくことが
環境負荷の軽減につながっていることを理解する。

この活動を通じて二酸化炭素排出量を出来るだけ抑え地球への環境負荷軽減に貢献する。